

## 新年あけましておめでとうございます。 本年もよろしくお願い致します。

安全衛生向上委員会の皆さん、日々の啓蒙活動や SAFETY News の発行等をご苦労さまです。高い意識と地道な運営を維持・継続し続ける取り組み姿勢に敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、当社根幹を成す技術の一つであり、当委員会の主テーマは正に「安全」であります。この技術面の管理は難易度が高く、環境の整備(4S等)は勿論のこと、熟練者でも慣れや過信が不安全行動に繋がりヒューマンエラーを引き起こすことから、俯瞰的で経験則に基づく高度な知見として『用心・警戒心の常態化技術』を磨くことが非常に大切だと考えられます。

これからも安全は最重要技術であること、そして安全確保は当社の根幹であり将来に繋がる生命線であることに変わりはありません。安全衛生向上委員会が今年も引き続き当社に於ける安全文化形成の牽引役として一役も二役も活躍されますことを期待するところであります。

本年もどうぞ宜しくお願いします。改めて年初に際しましてのご挨拶とさせていただきます。

代表取締役社長 山下雅也



### 防寒対策は安全作業への第一歩



冬の現場は寒さで動きが鈍くなってしまうたり、頭が回らなくなってしまうなど、ミスや怪我をする危険性が上がります。きちんと防寒対策をすることで、寒さによる事故を予防しましょう。

#### 【肌の露出を最小限に抑え、「3つの首」と手先の防寒対策を。】

ハンドウォーマーやレッグウォーマー、防寒靴下等を活用して“首元”“手首”“足首”を温めましょう。特に首の動脈は太くて皮膚に近い位置にあるので、首元を温めることで効率よく血液が温まります。効果を最大限に発揮させたい人は、アゴのあたりまでを覆う丈の長いネックウォーマーや、ミニカイロを入れられるポケット付きのネックバンドを活用するとより確実です。

#### 【衣類の素材の特性を理解し、「ベース⇒ミドル⇒アウター」の3層のレイヤーを上手に重ね着する。】

**ベース** ベースに着用するものはヒートテックなどが有名ですが、繊維が細かくて肌ざわりのよいメリノウール・ポリエステル等の登山用ベースレイヤーもオススメです。反対に普段着仕様の綿素材の肌着は、汗や蒸れが発生したときに急激に体が冷える作用が働くことがあるため注意が必要です。

**ミドル** ベースで確保した温かさを外へ漏らさないためのレイヤーです。空気を通さない遮断性に優れたものを選択すると良いでしょう。また、着膨れ防止のため薄手の中綿ジャケットがオススメです。

**アウター** 防水性・防風性はもちろん、体の汗や蒸れを外へ逃がす透湿機能を備えたものが良いです。加えてミドルレイヤーとアウターレイヤーの間に少しでも多くの空気を保つ空間をつくることで効果が高まるためアウターは普段着用するサイズよりも少し大きめが望ましいです。

#### 【タイツ、ポケットつき腹巻き、ネックウォーマー等の小物アイテムを活用する。】

**タイツ**→締めつけ感がなく、汗を吸い取ってくれる吸湿発熱機能を備えた素材のものを選びましょう。

**靴下**→防寒を重視する人は、丈夫かつ吸湿・保温性に優れたメリノウール(羊毛)製の靴下がおすすめ

**腰・おなか**→首と同様、腹巻き等で腰を温めることで全身の温かさを確保する効果が得られます。

**首・顔**→首まわりにフィットし、鎖骨の上からアゴまでをカバーできる丈の長いものを選択しましょう。